

令和3年度学校評価アンケートの分析と改善策

滋賀県立虎姫高等学校

分析	高い評価（A評価）	課題のある部分
教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある学校作り ・家庭での学習習慣確立への指導 ・学校生活の安全と怪我・病気等への対応 ・保護者をはじめとする外部との対応 ・学ぶ意欲を高める高大連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育の推進 (日常の清掃・ゴミの分別等も含めての校内美化活動) ・交通マナー等、社会規範やルールを守り、思いやりのある行動のとれる生徒の育成 ・教科やLHRでの図書館活用
	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間の確保 ・面談の充実と個別指導を含む熱心な学習指導 ・全校的な探究的な授業への改善の取り組み ・高大連携の充実 ・SSHの取り組み（3期目申請中） ・IBプログラムの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃機会の確保（7限授業が週3日の中で） ・環境学習への積極的な取り組みとゴミ分別の徹底 ・交通マナーの向上
保護者・関係者	<ul style="list-style-type: none"> ・教科指導の充実と熱心な授業 ・丁寧な進路指導と補習講座の充実 ・学校生活の安全と怪我・病気等への対応 ・工夫されたHR活動や学校行事 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立 ・適切な健康管理指導 ・外部との対応 ・学ぶ意欲を高める高大連携
生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・教科指導の充実と熱心な授業 ・成績評価の透明性 ・丁寧な個人面談と進路相談 ・工夫されたHR活動や学校行事 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での学習習慣確立への指導 ・丁寧な進路指導と補習講座の充実 ・生徒会主体の学校行事の活発化 ・適切な健康管理指導 ・魅力的な授業の形態 ・発展的な学習の機会 ・身だしなみ・交通マナーの向上 ・校内美化の活動
分析	<p>・全体として生徒・保護者等関係者・教職員による評価は、項目により多少の差はあるもののおおむね高く、教職員が学校の教育目標を常に意識しながら教育活動にあたっていること、またそれに基づく本校の取り組みが一定理解されていることが高評価につながっていると思われる。特に生徒による評価は、全25項目中24項目で前年を上回り、学校生活の満足度をはじめ、授業や進路、自主活動を中心に極めて高い評価となっている。保護者アンケートでも全25項目中21項目で前年を上回っている。しかし、「基礎的な力が十分でない生徒や、苦手科目の指導にきめ細かく取り組んでいる」の満足度が際立って低く、この点への対応を検討し、実施していかなければならない。</p> <p>・昨年度と今年度で、校内でのICT環境の整備が急速に進み、ICT機器を用いた教育の研究が進んだ。さらに来年度より1人1台端末が導入される。授業で使用するのと、家庭学習での使用について、各教科でさらに検討を進めている。</p> <p>・2年目のコロナ禍ではあったが、高大連携事業やSSH事業での外部との交流や文化祭・体育祭などの学校行事で、オンラインをはじめとするICT環境を使った取り組みが行われ、新たな可能性が見えてきた。今後これをさらに広げていきたい。</p>	